

平成18年度第39回全国高等学校定時制通信制卓球大会の結果について

日時 平成18年8月1日から3日  
場所 東京 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館

結果  
<男子団体>

2回戦 松山南 0 - 3弘前工 (青森)

<女子団体>

1回戦 北宇和日吉 2 - 3名古屋市(愛知)

<男子シングルス>

1回戦 白石 (新居浜西) 棄権勝ち 麻生 (大分工 大分)  
尾形 (松山南) 0 - 3 三村 (館林 群馬)  
内田 (宇和島南) 0 - 3 岡村 (飾磨工 兵庫)  
2回戦 白石 (新居浜西) 1 - 3 岡田 (長尾谷 大阪)  
佐々木 (新居浜西) 3 - 1 佐藤 (都城泉 宮崎)  
3回戦 佐々木 (新居浜西) 棄権負け 中村 (諫早 長崎)

<女子シングルス>

1回戦 菊地 (大洲肱川) 3 - 1 阿部 (白石七 宮城)  
加藤 (新居浜西) 0 - 3 佐藤 (長岡明 新潟)  
曾我部 (松山南) 0 - 3 高橋 (須崎 高知)  
2回戦 菊地 (大洲肱川) 0 - 3 鈴木 (木更津 千葉)  
浦宗 (北宇和日) 3 - 1 佐々木 (宮古 岩手)  
3回戦 浦宗 (北宇和日) 3 - 2 井口 (清心女 神奈川)  
4回戦 浦宗 (北宇和日) 3 - 2 大柳 (水海道 茨城)  
5回戦 浦宗 (北宇和日) 3 - 1 新川 (青陵 和歌山)  
準々 浦宗 (北宇和日) 2 - 3 渡辺 (貞山 宮城)

なお、松山南高校の山田與利男が石沢奨学会理事長賞を受賞しました。これは他の模範になる最もよく頑張っている選手、男女1名に贈られる賞のようです。山田與利男は、男子出場選手中最年長(62歳)で、しっかり頑張っているということから選ばれたようです。